



2022年11月11日

各位

会社名 株式会社 E d u L a b
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 廣 實 学
(コード番号: 4427 東証グロース)
問合せ先 取締役 C F O 関 伸 彦
(TEL. 03-6625-7710)

2022年9月期連結業績予想の修正並びに 営業外収益、営業外費用及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は最近の業績の動向等を踏まえ、2022年7月29日付「2022年9月期連結業績予想修正に関するお知らせ」にて公表いたしました2022年9月期通期の連結業績予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 2022年9月期連結業績予想数値 (2021年10月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,500	百万円 △330	百万円 △90	百万円 △870	円 銭 △86.66
今回発表予想 (B)	9,758	△234	100	△818	△81.54
増減額 (B-A)	258	95	190	51	
増減率 (%)	2.7	—	—	—	
(ご参考) 前年実績 (2021年9月期)	10,090	△425	350	△5,255	△530.41

2. 修正の理由

通期の連結業績予想につきまして、教育業界におけるICT化の流れは引き続き堅調に推移しており、テストセンター事業で利用者数が想定を上回ったこと等により売上高は前回予想をやや上回る見込みです。また、内部統制強化や臨時的な経理体制構築及び監査対応費用にかかる業務委託費等の増加により引き続き営業損失を計上する見込みですが、テストセンター事業で約1億円の収益改善が見込まれ、損失幅は縮小する見通しです。加えて為替差益による営業外収益が予想値を約1億円上回り、通期で約3.2億円を計上すること等により、前回予想では経常損失を計上する見込みでしたが、1億円の経常利益となる見通しです。

3. 営業外収益、営業外費用及び特別損失の計上

当社は、2022年9月期において、下記の通り営業外収益、営業外費用及び特別損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

(1) 営業外収益 (為替差益) の内容

外国為替相場の変動に伴い、当社は、2022年9月期第4四半期連結会計期間 (2022年7月1日～2022年9月30日) に為替差益として104百万円計上し、その結果、2022年9月期 (2021年10月1日～2022年9月30日) において、328百万円の為替差益を計上する見込みです。これは主として当社で保有する外貨建資産を期末日為替レートで評価替えしたことにより発生したものであります。

(2) 営業外費用（支払手数料）の内容

当社は、2022年7月29日付「株式会社増進会ホールディングスとの資本業務提携契約の締結、株式の売出し、主要株主及び主要株主である筆頭株主並びにその他の関係会社の異動に関するお知らせ」にて開示いたしました通り、株式会社増進会ホールディングスとの資本業務提携契約の締結及び同社に対する株式譲渡を実施しており、当該取引に関するアドバイザー費用等として、2022年9月期において80百万円を営業外費用として計上いたします。

(3) 営業外費用（持分法による投資損失）の内容

当社は、2022年8月25日付「合弁解消及び関係会社株式評価損（特別損失）の計上に関するお知らせ」にて開示いたしました通り、株式会社旺文社との間に設立した合弁会社について合弁関係を解消し、当該合弁会社は解散しております。合弁解消に伴い、最大87百万円の関係会社株式評価損を特別損失として計上する見込みでしたが、精算手続きが未了であることから2022年9月期は当該合弁会社を連結範囲に含めることとし、持分法による投資損失75百万円を営業外費用として計上いたします。

(4) 特別損失（固定資産の減損損失）の内容

当社が保有する固定資産のうち、AI事業、テストセンター事業及びテスト運営・受託事業の一部の固定資産グループについて、当該資産から得られる割引前将来キャッシュ・フローの総額が帳簿価額を下回ったことから、2022年9月期第4四半期連結会計期間（2022年7月1日～2022年9月30日）に減損損失として88百万円計上し、その結果、2022年9月期（2021年10月1日～2022年9月30日）において、595百万円の減損損失となる見込みです。

(5) 業績に与える影響

上記の営業外収益、営業外費用及び特別損失は、上記1.に記載の2022年9月期通期連結業績予想数値に含まれております。

※上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は2022年11月14日に発表を予定しております決算開示において異なる可能性があります。

以 上